

自由民主党  
京都市会  
議員団ニュース



平成17年(2005)6月25日発行  
 ■発行人/中村安良 ■編集長/中村三之助  
 〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
 http://homepage3.nifty.com/jimin/

**No.12**

# 魅力あふれる市会めぐし

京都市会議長 巻野 渡

平成十七年五月市会定例会におきまして歴史と伝統ある第七十二代京都市会議長に就任させていただきました。誠に光栄に存じますとともにその職責の重さに身の引き締まる思いです。

昨年、三位一体改革の全体像が示され、いよいよ国と地方の協議に基づく真の分権改革が行われようとしております。

地方分権改革は、地方公共団体の自己決定権が拡大することに伴い、住民代表である議会の果たす役割がますます重要となって参ります。

市民の皆様は、議会の活動状況を積極的に示すため、田中セツ子前議長は「開かれた市議会をめざして」委員会市長総括質疑の区役所支所への録画映像の配信やモニター視聴の充実など取り組みを進めてこられました。

私はこれらの取り組みを踏まえ「インターネットを活用した委員会質疑の配信」や「市会だよりの充実」を図り、議会を身近に感じていただくための「魅力あふれる議会づくり」へ一生懸命頑張つて



京都市会本会議場

参りたいと考えております。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(北区) 加地 浩  
交通水道委員長

(北区) 小林正明  
普通予算・決算委員長  
厚生委員

(選出行政区別)

# 頑張っています

## 京のために 自民党市議23人の顔

(東山区) 磯辺とし子 文教委員	(中京区) 津田大三 建設消防副委員長	(中京区) 加藤盛司 議員団政策委員長 市会運営委員会委員	(左京区) 巻野 渡 市会議長 交通水道委員	(左京区) 青木ヨシオ 建設消防委員	(上京区) 中村三之助 普通予算・決算副委員長 議員団ニュース編集長	(上京区) 国枝克一郎 財政総務副委員長
(右京区) 井上与一郎 文教委員長	(南区) 田中セツ子 建設消防委員	(南区) 棕田知雄 厚生委員	(下京区) 西脇尚一 財政総務委員	(山科区) 富きくお 文教委員	(山科区) 川中増次郎 厚生委員	(東山区) 内海貴夫 建設消防委員
(伏見区) 中川一雄 厚生副委員長 市会運営委員会委員	(伏見区) 橋村芳和 議員団副団長 文教委員	(伏見区) 繁 隆夫 市会運営委員会理事 厚生委員	(伏見区) 高橋泰一朗 交通水道委員	(西京区) 中村安良 議員団団長 財政総務委員	(西京区) 北川 明 市会運営委員会委員長 交通水道委員	(右京区) 田中英之 公営企業等予算・決算副委員長 市会運営委員会委員

議員団ニュース12号の内容

2、3面 ▼五月市会の代表質問 ▼二月市会普通予算特別委での自民議員の発言記録

4面 ▼職免で申し入れ ▼アーバンニュース13勉の自民議員の発言記録



# 水災時へ万全の対策

5月市会  
代表質問



脚光を浴びる小型トマト「京てまり」の栽培

## 京北で野菜生産も拡大

中村安良議員 (西京区)

(京北町との合併に伴う農業の振興)

中村安良議員 (質問) 京北町との合併で京都市域の農地は五百八十ヘクタール増え、市域全体で二千九百ヘクタール余りになり、役所の組織も農林振興室として充実されました。これを機に官・学と地元が連携して「合併記念の新たな京の農産物の産地づくり」ができませんかと考えますが、また今後の京北地域の農業振興対策をどのように推進されるのか、お考えをお聞かせ下さい。

高評価を得ています。京都市では平成十年度から「京の旬野菜推奨事業」に取り組み、京都市と連携して、小型トマトの「京てまり」や「京あかね」など新しい京野菜を開発して参りました。また、夏場の新たな緑黄色野菜として葉の部分食用とするトウガラシの「京唐菜」を京都大学とともに開発中で、京北地域においても積極的な農業振興を図ります。

(水災対策)

中村安良議員 (質問) 水災発生時には、消防局、建設局、上下水道局、区役所などで十分な連携体制が確立しているか。浸水や土砂崩れなどの水災の発生状況や、今後発生が予想される情報を市災害対策本部で、どこまできめ細かく把握できているのか。本市には

地域防災計画があるが、実際には迅速・的確に、また横断的に行政として機能し、対応できるのか。この点についてハード整備はもとより、総合的な運用体制などについて、具体的対策をお聞かせ願います。また、水災はどの時点で避難勧告を出されるのか、地震の避難場所と異なるのか考えますが、伺いたします。

毛利信二副市長 (答弁) 大雨洪水警報等が発令されますと、市・区の災害対策本部を設置し、各局・区連携の下に、雨量や河川の水位情報、危険箇所パトロールの実施などによる現場情報等、各種の情報を収集し、迅速に被害の発生を防止する体制をとっております。

避難勧告等につきましては、こうした情報を基に、堤防の決壊のおそれがあると判断される場合などに発令することとしておりますが、一層的確に発令の時期と対象地域を判断できるよう、今年度から水災予測システムの構築に取り組ん

で参ります。水災時の避難場所につきましては、教育委員会所管の学校施設は二階建て以上の校舎も使用できるよう改めており、更に公共施設の一層の活用や地域の共助による避難場所の確保に向けた取り組みを進めて参ります。

(小児慢性特定疾患患者への支援制度)

中村安良議員 (質問) 近い将来短期入院、外来通院患者にも温情ある市独自の制度の復活をお願い致したいと思っております。

榎本頼兼市長 (答弁) 先の二月市会におきまして、議員から貴重なご提言をいただき、小児喘息などにより一ヶ月以上続けて入院されている場合について、本市独自の公費負担制度を継続することとしたところであります。この事業の今後のあり方につきましては、実施状況や財政状況などをじっくりと見極めていきたいと考えています。

(教育指導者の処遇)

中村安良議員 (質問) 優れた教育実践を重ね、教育指導力が高く、人格的にも優れた「授業の達人」のような先生を処遇し、励ますことはできないでしょうか。

門川大作教育長 (答弁) 教員の努力に本市独自に報いるため、現行給与制度上の制約がある中、優れた教育実践を幅広く称え、毎年約五百人程度を顕彰する表彰制度を全国に先駆けて実施するとともに、今年度、全ての教員を対象とした評価システムを導入するなど、将来的には処遇や給与に反映できるように取り組みを進めております。

### 中村安良議員の質問項目

- 1 わが国の農業
- 2 都市農業の振興
- 3 産地支援の体制と中央卸売市場での取り組み
- 4 食育の推進
- 5 京北町との合併に伴う農業の振興
- 6 森林整備に対する支援の充実
- 7 災害時における山林の復旧支援
- 8 水災対策
- 9 骨髄バンクへのドナー登録の啓発
- 10 小児慢性特定疾患患者への支援制度
- 11 教育指導者の処遇

## 自民議員の主な発言・提案

## 普通予算特別委員会

の人体への影響の懸念及び建設に当たっての文化市民局との連携の要請

### 保健福祉局

- ・保育料見直しで格差は正の影響が出る世帯の割合
- ・個々の保育料決定に当たっての市民へのきめこまやかな対応の要請
- ・17年度中の待機児童解消の見通し
- ・特例保育のニーズの推移及び今後の制度継続の要請
- ・子供の幸せの観点からの延長保育に代わる施策検討の要請
- ・保育料徴収協力員モデル事業等保育料徴収の現状と今後の見通し
- ・保育料徴収困難世帯に対する対策の実施及び園と市の連携による徴収の努力の要請
- ・安全対策として園庭の芝生化を指導する考え
- ・幼児期における運動経験の重要性及び運動能力を伸ばす遊び実施の要請
- ・プール制堅持の観点での高齢の保育士の給与体系見直しの必要性
- ・警察情報の速やかな提供など保育所の安全対策確保の要請
- ・母子福祉センターの利用状況及び事業の実施状況
- ・母子家庭の収入の状況及び児童扶養手当の支給実績
- ・高齢者福祉施設の入所待機者解消の具体的方策
- ・介護予防ともなる高齢者スポーツの必要性
- ・高齢者のスポーツ普及のための事業内容及び施設等の場所提供の要請
- ・高齢者市バス、地下鉄等乗車証交付の市民の不安感解消の要請
- ・醍醐コミュニティバスへの適用の検討状況
- ・居宅介護支援事業者の取り消しが多いことに対する見解
- ・小児慢性特定疾患治療研究事業等医療給付について公費全額負担の制度見直しにより多額の自

- 己負担となることへの適切な対応の要請
- ・医療機関や患者への正しい情報周知の要請
- ・小児慢性特定疾患の当事者に配慮した制度改正や支援の必要性
- ・難病相談支援センター設置に係る府からの相談の有無
- ・特定疾患医療受給者証の受給者数
- ・府との連携を密にした難病患者の実態把握の要請
- ・骨髄バンクドナー登録の推進
- ・国民健康保険料改定の理由
- ・保険料改定幅を抑えるために行った本市の努力
- ・値上げの幅が大きい所得階層に対する対応の内容
- ・市民に理解してもらうための方策の内容及び窓口対応の重要性
- ・国保財政健全化に向けての今後の取り組み

### 都市計画局

- ・京町家まちづくりファンド(仮称)の創設について京町家再生プランとの整合性及び景観重要建造物指定の手法
- ・南部開発推進事業の進捗状況と今後の見通し
- ・京北地域における土地利用規制誘導の必要性の検討調査
- ・パーク・アンド・ライドの実施に必要な駐車場の積極的な確保の必要性
- ・交通バリアフリー基本構想の策定
- ・屋外広告業者登録制度の実施
- ・高度集積地区における屋外広告物への規制の在り方
- ・市民ボランティアによる違反はり紙等除却事業の推進
- ・耐震診断士派遣事業の取り組みの推進
- ・高い空き家率と巨額累積赤字を抱える特定優良賃貸住宅供給促進事業の見直しの必要性
- ・同じ地域の市営住宅で応募倍率に極端な差が生じていることに対する認識
- ・景観の創生、TDM施策など都市計画局が企画

調整機能を発揮すべき部門の予算の充実確保

### 建設局

- ・洛西ニュータウン管理公社と住宅供給公社及び住宅サービス公社の統合に関する懸念
- ・自転車等駐車場の整備状況と今後の整備見通し
- ・撤去した放置自転車の返還率低下への懸念
- ・駅前空き地等を自転車等駐車場として積極的に整備する考え
- ・地域や学校等と連携した効果的なマナー啓発の工夫
- ・京北町との合併に伴い法定外公共物として本市に移管される里道等の所管問題
- ・道路や市街灯などの維持補修費の十分な予算確保による迅速な対応の要請
- ・一般国道162号線川東工区の進捗状況及び栗尾バイパスの整備見通し
- ・京阪本線淀駅周辺整備事業の進捗状況と今後の見通し
- ・阪急桂駅向日駅間において立体交差化が困難である川岡踏切の取扱い
- ・葛野大路、久世梅津北野線の調査結果と今後の整備見通し
- ・久世梅津北野線の整備に係る地元との協議状況
- ・河川はん濫による地下鉄構内への浸水時における危機管理体制
- ・七瀬川都市基盤河川改修事業の進捗状況と完成見通し
- ・木津川に関する情報の市域への連絡円滑化のための京都府との連携強化
- ・公園における周囲からの見通しの改善など安全対策の徹底
- ・太秦安井公園(仮称)整備の際の地元要望の反映
- ・六原公園及び山ノ内公園の用地取得方法
- ・公園設置に係る諸条件と整備優先順位の考え方
- ・伏見区など人口密度が高いにもかかわらず広域避難場所として使用できる公園がない地域への

- 公園整備促進
- ・水辺環境整備や屋上緑化など地球温暖化対策における建設局の役割
- ・伏見区横大路における京都パープルサンガ専用スタジアム建設計画の進捗が伏見西部第五地区区画整理事業に与える影響
- ・現場職員の意見の業務への積極的採用による職責意識の向上

### 消防局

- ・火災通報など市民に対する一層の協力要請
- ・消防防災通信ネットワークの構築実用化に伴う総事業費
- ・スポーツ指導者に対する救命講習義務付けの要請
- ・スポーツ関係者に対する自動体外式除細動器(AED)普及啓発の必要性
- ・防火・防災普及啓発事業の効果をも高めるための人材の質的確保の要請
- ・売名目的等形だけの入団で十分な活動が困難な消防団員に対する適切な対応
- ・女性団員に配慮したトイレ改修など施設整備への支援要請
- ・女性団員の割合及び男性団員との役割分担の有無
- ・消防団におけるサラリーマンの増加に配慮した消防出初式の休日実施の考え
- ・都市河川はん濫時に迅速な対応と避難誘導ができる体制づくりの要請
- ・震度測定に係る精度向上のための京北町や各活断層への地震計の設置
- ・都市計画局の防災都市づくり計画と第3次地震被害想定との整合性
- ・非常食の管理体制及び備蓄状況
- ・安心安全ネット戦略プラン(仮称)における消防局の役割
- ・世界的な災害への危機意識の高まりの中での防火、防災意識啓発の重要性



# 京の観光二層の振興

5月市会  
代表質問

## 京北の自然も生かし



観光や農業振興に期待が集まる右京区京北地域（菩提樹の道）

の整備等、京都のまちづくり全体の中で取り組んでいかなければならないと強く考えております。今一度、観光の語源である「国の光を観る」という原点に立ち返り、京都の持つ「ほんもの」の魅力に心からの感動と驚きを体感していただけるような京都観光の振興に全力を傾注して参る決意です。  
**（ワンダーランドの跡地活用）**

**磯辺とし子議員（質問）** 京北地域は九十三%が山林で広大な面積を有しており、大切な資源を守る為には、京都市の持ち出しだけではこの先無理が生じます。その為、京北地域に産業を興す必要があります。ラベンダー畑を合併記念事業計画にあるワンダーランドの一部に造っていただきたく思います。大開発をするのではなく、地元の方々と共に行政がサポートして、京北地域の自然を壊さないよう進めていただきたいと思っております。  
**榎本頼兼市長（答弁）** グリーンワンダーランドの跡地については、「京都市・京北町合併設計計画」において、「自然環境を生かす」と

ともに、広く市民が活用でき、京北地域の将来の発展につながるような有効活用方を多様な観点から検討していくとしております。当該跡地は、国道一六二号から間近にある二百六十八ヘクタールの緑豊かな里山であり、その活用に当たっては、都市部では得られない憩いや、癒しを得ることのできる自然空間として、地元の基幹産業である農林業の振興や観光振興など、様々な観点から検討して参りたいと考えております。  
**（農業の振興策について）**  
**磯辺とし子議員（質問）** 京都市が自給自足する為の方向として、一部の人々だけが京北地域の人達だけに頼るのではなく、市内に住む人達も少しずつ農業に触れてゆき、農業をライフワークとして楽しみながら手掛けていくようにすればどうでしょう。この際、京北地域の山林に段々畑を造るとか、又、区画を造りメンバー制で会員を募って田畑の権利を持ち合うとか、何か一般市民も農業に参加できる仕組み作りを考えて下さい。  
**榎本頼兼市長（答弁）** 今後は京北地域におきましても、多くの市民が農業にふれあう場をつくること、有益であると考えております。京北地域にある十三ヘクタールにも及ぶ遊休農地を活用するなど、森林保全にも配慮しながら、都市住民が農業に参加できる仕組み作りを財団法人きょうと京北ふるさと公社やNPO法人と共に検討して参りたいと考えております。また、市内の農地面積は限られておりますが、少しでも食料自給率の向上を目指すことは安心安全な市民生活に寄与するものであり、市域における食糧生産が増えるよう、農地の有効活用や農業生産力の向上に努めて参ります。

国は観光立国と言い、府は観光客八千万人と、市は五千万人と、大きな構想を掲げておられますが、私は沢山の人が来る事が第一だとは思いません。京都の風情や、京都にしかない歴史と文化から醸し出される、なんともいえない優雅さや風格を感じて貰いたいと思います。沢山ある伝統文化を絶やさないで、後世に受け継いでいけるよう、広く国内外に発信する為にも、観光産業は非常に重要です。本当の意味での観光にシフトする必要がありますと強く感じます。

**（観光行政のあり方）**  
**磯辺とし子議員（質問）** 現在、観光行政のあり方について、府は観光客八千万人と、市は五千万人と、大きな構想を掲げておられますが、私は沢山の人が来る事が第一だとは思いません。京都の風情や、京都にしかない歴史と文化から醸し出される、なんともいえない優雅さや風格を感じて貰いたいと思います。沢山ある伝統文化を絶やさないで、後世に受け継いでいけるよう、広く国内外に発信する為にも、観光産業は非常に重要です。本当の意味での観光にシフトする必要がありますと強く感じます。

**（観光行政のあり方）**  
**磯辺とし子議員（質問）** 現在、観光行政のあり方について、府は観光客八千万人と、市は五千万人と、大きな構想を掲げておられますが、私は沢山の人が来る事が第一だとは思いません。京都の風情や、京都にしかない歴史と文化から醸し出される、なんともいえない優雅さや風格を感じて貰いたいと思います。沢山ある伝統文化を絶やさないで、後世に受け継いでいけるよう、広く国内外に発信する為にも、観光産業は非常に重要です。本当の意味での観光にシフトする必要がありますと強く感じます。

## 自民議員の主な発言・提案 普通予算特別委員会

自民議員は京都市においてどのような発言をしているのか...というご質問から今回2月定例会での普通予算特別委員会において、自民議員が質問や提言した主な内容・項目を掲載します。それらが大きい反映され、今年度の京都市予算が執行されています。

- 総合企画局**
  - 市民しんぶんによる環境に関する広報の具体的な内容と紙面構成を工夫する必要性
  - 京都市歌の普及の取り組み
  - 市民憲章の推進状況調査を行う目的、調査対象、調査結果の活用方法
  - 市民憲章において行動規範となる実践目標を選定する必要性
  - 安心安全ネットの構築に当たっての決意
  - 安心安全ネット戦略プランの全庁を挙げた局横断的な取り組みの必要性
  - 環境問題を基礎とする地域コミュニティの再構築を地域の総合的な安心安全ネット構築につながる考え
  - ハンドブック「安心安全知識の泉(仮称)」を日常生活に活用できる冊子とするための工夫
  - 市政情報総合案内コールセンターの概要と市民への周知方法
- 総務局**
  - 低公害車導入方針と全車両を早期に低公害車に更新する必要性
  - 新規採用職員に対する研修の具体的な内容と公務員としての意識改革の必要性
  - 職員採用における面接への民間専門家の導入
  - 国際化推進室の位置付けと予算や体制の充実
  - 外国籍市民施策懇話会の充実と提言の施策への反映の必要性
  - 医療通訳派遣事業の利用状況と課題
  - 留学生の国際交流会館利用者調査と支援の充実

- 理財局**
  - 公債償還基金からの借入れの妥当性と今後の予定額
  - 17年度市税収入見込みの増加要因
  - 16年度市税収入確保の見通しと徴収率向上の決意
  - 新税の検討状況
  - 財政健全化プランの財政収支見直しに対する現状認識
  - PFI手法による工事の地元業者への下請を求める指導等の考え
- 文化市民局**
  - 京都まつり都大路パレード参加区の取り組みに対する温度差と費用対効果の検討
  - 区運営方針の策定時期と公表方法
  - 区行政推進会議の再編強化内容
  - 地域情報伝達社会システム構築のための調整役ポスト設置の必要性
  - 区役所まちづくり推進課と学校との連携の必要性
  - 市民しんぶんの配布方法と市政協力員改選時の国勢調査員委嘱事務の適正な引き継ぎの必要性
  - 東山まちづくり推進基金の厳正な公金管理と経理責任者の必要性
  - 東山まちづくり推進基金の継続の見直しと全庁的拡大の考え
  - DV被害者のための民間シェルターに対する具体的な支援内容
  - 伏見桃山城運動公園敷地の短期賃貸契約の懸念
  - 各種スポーツの種類別人口、年齢構成、男女構成等の調査実施の有無
  - 地域体育館整備状況と今後の取り組み計画
  - 京北町の自然環境を活用したスポーツ施設等整備の考え
  - イベントの次第における京都市歌斉唱の要請
- 産業観光局**
  - 公設小売市場の民設化の理由と関係者の理解を

- 得る必要性**
  - 伝統産業の日の事業を業界関係者に周知する取り組みとパンフレットの設置状況
  - 伝統産業技術功労者顕彰制度の拡大の考え
  - 京都館と東京事務所の連携の必要性
  - 新・体感型観光推進事業で実施する京都ならではの取り組み内容と情報発信の方法
  - 京都・花灯路の東山での実施結果とあらしやま・さがの事業の計画内容
  - 修学旅行生に対する社寺仏閣拝観料軽減のための方策
  - 愛知万博が本市に与える影響と愛知万博に訪れる観光客を本市に誘致する取り組み
  - 鞍馬地区の渋滞解消策
  - 京都らしい宇多野ユースホステルの再整備の必要性
  - 水田農業構造改革対策事業の内容
  - 有害鳥獣被害に対する早急な対策の実施の必要性
  - 地元産材の販売促進の取り組み内容と拡充の考え
  - 食の安全対策の取り組み状況と食の安全表示の必要性
  - 周辺地域を含む中央卸売市場の複合的活性化
  - 京北町にある観光資源と豊かな自然環境を生かした観光振興の考え
- 教育委員会**
  - ゆとりの時間のこれまでの取り組みと今後の課題
  - 塾に頼らない自学自習を促すことの重要性
  - 「指導の重点」の17年度版の新たな改善点
  - 環境教育の実践行動につながる取り組み強化の必要性
  - 普通教室冷房の環境にやさしいガイドライン作成、活用による環境教育の実施
  - 管理職評価の子供、保護者、地域の評価の反映状況と降任制度の有無
  - 教員自己評価制度の導入効果
  - しなやかな道徳教育総合実践推進事業の具体的な取り組み内容

- 道徳教育指導者としての教員資質向上の必要性**
  - PFI方式を採用した学校冷房化事業の早期完了の要請とコスト削減の推進
  - 全国おやじサミット開催の規模及び予算
  - 親子教育の必要性
  - 図書館でのノート型パソコン持ち込み使用とITを活用した図書館サービスの向上
  - 地域コミュニティ再構築のための学校と区役所まちづくり推進課との連携の考え
  - 京都市歌の学校行事での斉唱の推進
- 環境局**
  - 京都議定書発効を契機とした地球温暖化対策の市民啓発促進
  - 地球温暖化対策のための森林の適切な保全における事業者の重要性
  - 温室効果ガス10パーセント削減のために京都の三山を守っていく必要性
  - 地球環境問題連続セミナー(仮称)の規模、人員及び幅広い世代が参加できる工夫の要請
  - 太陽光発電普及促進事業継続の要請
  - 市民に一番身近なごみ収集職員が環境保全に関する知識を備える必要性
  - ごみの指定袋制導入における市民のコスト意識の必要性
  - ごみ減量の達成状況とその成果の市民へのPR
  - まち美化事務所職員に対する十分な研修実施
  - 「世界一美しいまち・京都」の推進
  - 自分のまちは自分で守るという意識の重要性
  - 南部クリーンセンター第二工場整備における地元との協議状況及び東部クリーンセンターの将来的在り方
  - 横大路における環境先進モデル学区設置など逆転の発想による地元対策の考え
  - 焼却灰溶融施設整備の安全性の確認
  - ごみ埋立地であったサッカースタジアム建設予定地の過去の状況の正確な把握の必要性
  - サッカースタジアム建設予定地のメタンガス



# 「職免」で申し入れ

## 自民市議団 「実質上ヤミ専従」

京都市が昨年度、環境局に勤務する職員に対し、職場を離れて組合活動などを行う職務専念義務の免除（職免）を二百日分も適用していたことが明らかになった問題で五月三十日、自由民主党市議団は、榎本市長に次のような申し入れを行いました。

本市職員が、昨年度二百日以上にわたり職務専念義務の免除（い

わゆる職免）を受けていたことが明らかになった。この職免の内容は、組合行事のほか、ごみ収集計画の労使間調整など、環境局が独自に設けた業務にも適用を受けていたとされている。

しかし、職員の管理監督権限を持たない職員が、市当局と職員の労使間調整の業務を任せられ、職免の適用を受けていたことは、実質上ヤミ専従と指摘されても仕方な

記

一、当該職員をはじめ、昨年度二十日以上職免を取得した職員の実態を公表されたい。

二、職免適用の範囲を明文文化し、毎年取得状況を公表されたい。

三、職員の労務管理は管理職の職務権限であり、労働組合に任せることのないようされたい。

四、該当職員をはじめ、市民

といえる。

このような職免が昭和六十三年以来行われており、これを長年認めてきた当局の責任は大変重大である。

よって、自由民主党京都市議会議員団は京都市長に左記申し入れを行う。

## アーバンユースネット13 京都で勉強会開催

### 福岡政行氏を講師に



に理解されない職免取得者に対し、では取得日数にみあう給料の返還を求められたい。

平成十七年五月三十日

政令指定都市の自民党若手議員の勉強会である「アーバンユース

ネット13」西ブロック主催の勉強会Ⅱ写真Ⅱが五月十四日に立命館大学客員教授の福岡政行氏をお招きし、中京区の自民党京都府連において開催されました。

当日は、北は札幌市、南は福岡市と全国から多くの若手議員が集まってこられました。

福岡教授には「市民・議員・行政見えないトライアングル」と題して講演をいただき、地域再生の

必要性や市街化調整区域の用途変更などのお話をいただきました。また、講演の冒頭には先ごろの「JR西日本の脱線事故」について、あと「イラク人質問題」「大阪市の公金支出問題」や「小泉首相の功罪」など幅広い問題をマスコミが伝える以外の裏話を交えてお話いただき、大変有意義な勉強会でした。

## 視点は消費者問題 司法制度改革で講義

### 朝食勉強会

恒例の自民党京都市議会議員団独

自の朝食勉強会を五月十三日に行いました。今回は、一橋大学法学研究科教授

- いても公共交通機関としてのバス事業の在り方を検討する必要性
- ・バイオディーゼル燃料導入拡大に対する課題が解決されない理由
- ・市長が提唱している環境に優しいまちづくりに向けての交通局の努力
- ・地下鉄職員が挨拶を励行するための指導の徹底
- ・車内広告料の増収に向けてのこれまでの取り組み状況
- ・自転車のマナー低下による事故の推移
- ・ドライブレコーダー導入の考え
- ・苦情処理システムの現状
- ・管理の受委託をしている営業所における苦情処理システムの現状
- ・ポケットロケーションシステムを更に使いやすく充実させるための取り組み
- ・ポケットロケーションシステムのバス停留所でのコード番号表示の工夫
- ・同一バス停留所でも方面ごとにコード番号をつける必要性
- ・民間の参入に関し情報収集に努め対抗措置を採る考えと議会への迅速な情報提供
- ・みやこ・めぐるオイルの全国展開や交通局が率先して京都スタンダードを導入する考え
- ・市バスでのバイオディーゼル燃料の導入の拡大に対する課題克服の努力
- ・洛バスのラッピングで外国人観光客を歓迎している雰囲気表現する工夫
- ・10年前の値上げの際、新聞に掲載した自民党京都市議会議員団の意見の17年度予算への反映の在り方
- ・バス、地下鉄運輸士の勤務実態の格差
- ・勤務制度と研修制度の抜本的な見直しの必要性
- ・実証実験の具体的な実施方法の不透明さ
- ・エムケイの当初の参入条件を忘れることなく危機感を持つ営業努力の必要性
- ・赤字路線を民間に委託する考え
- ・実証実験における小型バス導入が車両の二重投資になる危ぐ
- ・地下鉄東西線神川延伸工事に於いて六地蔵と同程度の経費削減の可能性
- ・地下鉄東西線六地蔵延伸で出入口の建設費が増えた理由
- ・規制緩和により民間事業者が参入することによる環境破壊の危ぐ

- ### 上下水道に関すること
- ・地域水道の現状、今日までの整備経過及び今後の整備予定
  - ・地域水道整備地域における井戸水の利用実態
  - ・水洗化率向上の取り組み状況
  - ・水洗便所設置の際の貸付金制度及び奨励金交付制度の概要
  - ・水を安定的に供給する一方で、水需要が減少しているという状況下で、まちづくり等市民のために水を有効に利用することに對しての考え
  - ・公営企業の定義を踏まえうえでの利潤及び利益剰余金についての考え方
  - ・平成17年度年間有収水量が対16年度で1.5パーセント減少している理由
  - ・水道事業における元利償還金の料金収入に対する割合の動向
  - ・設備及び施設の耐用年数及び取替えについての考え方
  - ・水道料金改定についての今後の見通し
  - ・企業会計における予算額と決算額のかい離状況を踏まえての予算編成手法の妥当性
  - ・地下水膜ろ過システム等の普及対策として、一定量以上の水道水使用者に対して料金の上限を設定する考え
  - ・水道料金と地下水膜ろ過システム導入に係る設備等経費のモデル的なコスト比較
  - ・河川を管理する京都府や市建設局との連携による総合的治水対策の必要性
  - ・上下水道局における合理化の効果
  - ・莫大な経費を掛けている公共下水道整備事業についての市民PR強化の必要性

## 自民議員の主な発言・提案

## 公営企業等予算特別委員会

自民議員は京都市会においてどのような発言をしているのか...というご質問から今回2月定例会での公営企業等予算特別委員会において、自民議員が質問や提言した主な内容・項目を掲載します。



### 市立病院に関すること

- ・病院の経営的な責任者
- ・来年度予算案が前年度当初予算よりも低額な理由
- ・病院の財政収支状況に対する病院長としての認識
- ・医者の心構えや患者の心のケアなど患者サイドに立った病院経営の必要性
- ・国からの補助金が交付税化された場合における病院予算確保の見通し
- ・来年度以降の京北病院に対する府補助金の見通し
- ・従前府立病院に搬送されていた重症患者の市立病院での受け入れに関する府との協議状況
- ・市立病院再整備におけるPFI手法の検討状況
- ・医師、職員中心ではなく患者を中心とした病院とする必要性
- ・医師等の研修時間がない中で携帯できる研修マニュアルの作成の考え
- ・患者サービスの観点から土日開業の考え
- ・院外処方実施に伴う薬剤師の合理化の必要性
- ・医療事故報告における傷害区分の判定に第三者を加える必要性
- ・公表基準により発表された医療事故等が増えている理由
- ・個人情報管理の現状及び取り扱いにおける十分な注意の要請
- ・患者の視点に立った医師や職員の接遇の必要性
- ・再整備に当たって居心地の良さを追及や図書室の設置など患者サービスに努める必要性
- ・小児科救急医療体制充実の要請
- ・接遇態度の悪い看護師への指導、研修の現状
- ・人間ドックの利用状況及び積極的なPRの必要性

### 市バス・地下鉄に関すること

- ・敬老乗車証が一部負担金制になることに伴う交通局の収入減の見込みと交通局の予算編成に及ぼす影響
- ・敬老乗車証が一部負担金制になることに伴う収入減に対する営業努力の考え
- ・交通局独自の給与体系を確立する必要性
- ・ルネッサンスプランにより削減した職員を市長部局へ配置転換する危ぐ
- ・三位一体改革による京都府からの職員派遣の危ぐ
- ・管理の受委託に関し、委託先による人件費格差の是正の必要性
- ・管理の受委託を推進するメリット、デメリットを明確にしたスピード感のある運営の必要性
- ・九条営業所において直営と管理の受委託が混在する中、双方の交流やコミュニケーションを図る必要性
- ・バスと地下鉄におけるユニバーサルデザインの導入計画
- ・地下鉄建設に関する補助金が一般財源化する可能性がある中、連結型の地下バスを導入する考え
- ・実証実験を実施するにあたりコミュニティバスも含めて検討する必要性
- ・地下鉄の開業により一元化した地域につ

づける憲法問題であると共に、司法のユーザーたる国民から見れば消費者問題でもあるという視点から、行政優位の国家から政治や司法とのバランスのとれた国家への制度改革の必要性など有意義な講義でした。



松本一橋大学研究科教授を迎え自民議員団朝食勉強会